

福島県労連

2023年11月15日 Vol.279(11月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町2-5 一番丁ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkstoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkstoren.org/>

生活支える年末一時金をかちとろう!!



(福島医療生協労組の団体交渉 11月10日)



(みやぎ生協労組の団体交渉、11月10日)

年末一時金回答状況

(11月10日現在)

- 福島医療生協労組
 - 正職員 1.15ヶ月
 - パート 0.2ヶ月
- みやぎ生協労組 (福島書記局)
 - レギュラー職員 1.5ヶ月
 - パートナー職員 0.75ヶ月

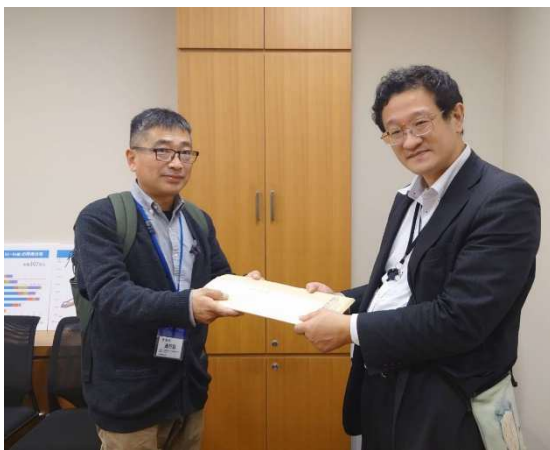
現在、各単組では、年末一時金を中心にした団体交渉が重ねられています。11月8日の集中回答日をうけた翌9日には全国統一行動が取り組まれました。福島県医労連の各単組では、職場でのチラシ配布や「退勤時調査」などに取り組みました。公務労組関係では、県人事委員会勧告をふまえ、県立高教組が県教育委員会交渉を実施しました。自治労連県本部の各単組では、会計年度任用職員に対する「勤勉手当の支給」「給与改定の4月遡及」などを重点要求に交渉をすすめています。

物価高騰と実質賃金の低下が連続する中、生活を支える年末一時金の獲得は切実です。非正規雇用労働者を含めたすべての労働者の一時金獲得にむけ全力をあげましょう。

**秋季年末闘争勝利
11・10中央行動**

11月10日には「物価高騰から生活守れ！秋季年末闘争勝利！大軍拡・大増税・改憲の岸田内閣は退陣を11・10中央集会」が、東京・日比谷野外音楽堂で開催されました。

参加した建交労福島県本部学童保育支部の佐藤秀樹さんは「学童保育を児童福祉法7条の施設として位置づけること」を中心に衆議院の厚生労働委員会委員への要請行動に取り組みました(写真)。



宮本徹日本共産党衆議院議員の秘書(右)に要請する佐藤秀樹さん(左)

いのちと暮らしを守るとりくみを広げよう!



銀座パレードする福島県厚生連労組のみなさん(10月19日)

国に対して医療・介護・福祉の予算増額を求める「いのちまもる総行動」が、10月19日、東

医療・介護・福祉の予算を増やせ!

いのちまもる総行動

京・日比谷野外音楽堂で行われました。オンラインを含め3100人が参加。県医労連では福厚労を中心に20人が参加しました。リレートークでは、保育士や介護福祉士が、「日々踏ん張って仕事をしているのに賃金が低すぎる。軍事費拡大ではなく、国の責任で私たちの賃金を全産業平均並みの給与水準まで引き上げ、人員の確保につなげてほしい」と切実に訴えました。集会後、銀座をパレードして国民にもアピールしました。

(福島県医労連)



宣伝行動に参加した年金者組合福島支部のみなさん(10月13日、コープマート泉)

「大軍拡より年金上げよ!」

年金者一揆2023

「大軍拡より物価に見合っって年金を上げろ!」—年金者組合福島県本部は、10月13日の年金支給日を中心に、「年金者一揆2023」全国一斉宣伝行動に取り組みました。県内では10支部が11カ所でスタンディングと署名活動、チラシ配布など多彩な行動を繰り広げ、90人が参加しました。会津若松市では地方労連と共同で、いわき市では市労連の事務局長がマイクを握りました。年金署名は104筆集約し、チラシは戸別配布を含めて4,300枚を配布しました。

(年金者組合福島県本部)

学童保育指導員の「処遇改善」めざし

学習会を開催

建交労学童保育支部は、10月18日(水)に福島市内で、「『処遇改善』『キャリアアップ』をどう活用するか」と題した学習会を開きました。学習会は、福島市内の学童保育の指導員に案内をし、当日は労組未加入の5名の指導員も参加しました。

の結果も示しながら、「処遇改善事業が県内では6割の指導員に知られていない。福島市内の学童保育でも全部で実施されているわけではない」—学童保育の専門的な仕事に必要な常勤職員の配置のために処遇改善事業をすべての学童で実施しよう」と話しました。

(建交労学童保育支部)

学習会の講師をした佐藤秀樹さん(渡利学童保育きりん教室指導員)は、建交労学童保育支部が昨年取り組んだアンケート



「ALPS処理水の海洋放出中止と新たな汚染水の発生を抑える抜本対策を求める要請署名」を広げてください!(第1次締切12月末日)



(ふくしま復興共同センターの宣伝署名行動 10月24日 福島市)

オンライン署名も実施中です。右のQRコードをスマートフォンなどで読み込むとChange.orgのサイトが開きます。



自治労連郡山市職員労働組合

「東京ディズニーリゾートツアー」に行ってきました!



自治労連郡山市職員労働組合のみなさんは、10月7日(土)～8日(日)、共同企画として「東京ディズニーリゾートツアー」を実施しました(写真)。約4年ぶりの開催です。1日目のディズニーランドでは開園40周年に合わせた装飾や

自治労連郡山市職員労働組合のみなさんは、10月7日(土)～8日(日)、共同企画として「東京ディズニーリゾートツアー」を実施しました(写真)。約4年ぶりの開催です。1日目のディズニーランドでは開園40周年に合わせた装飾や

ハロウィンの装飾がパーク内を彩っていました。2日目のディズニーシーは曇り空でしたが、アトラクションに乗ったり、期間限定のグルメを味わったりしながら、楽しい時間を過ごせました。「次回もぜひ参加したい」の声も寄せられました。



二本松地方労連 第71回定期大会

10月27日、勤労者福祉会館で、4年ぶりに対面での大会を開催。各単組から賃上げや長時間労働改善にむけたとりくみが報告されました。ALPS処理水の海洋放出中止を求める決議も採択。佐原成典議長、鈴木久之事務局長を再任しました。



白河地方労連 第35回定期大会

10月13日、白河人材育成センターで、4年ぶりに、定数代議員が参加するリアル開催。くらしと賃上げ、労働環境改善、憲法と平和など各組織の交流を深め議案を承認。近藤芳文議長、藤田真事務局長を再任しました。



★各単産・地方労連の定期大会★ 建交労福島県本部 第25回定期大会

10月22日、二本松市で開催。「失業と貧乏と戦争に反対する」という建交労のスローガンに団結して、憲法を守り活かして「平和、いのち、くらしを」守るためにたたかうことを確認。山田照夫執行委員長、瀧柳勝彦書記長を再任しました。

医労連・しのぶ福祉会パワハラ裁判

10月26日の仙台高裁判決は、裁判長が再度期日を入れるという判断をしたため、延期となりました。

「争議支援するめ」の普及にご協力ください!

*ご注文は、各地方労連におねがいします。

故・山口文彦元議長を偲んで 福島県労連議長 野木茂雄

1997年8月から3年間、県労連議長を務めていただいた山口文彦さんが、10月30日に、満88歳で亡くなられました。県労連の前進のためにご奮闘いただきましたことに感謝を申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

山口さんは福島営林署を定年退職された後、1995年6月から県労連事務局に勤務されました。営林署の労働組合である全林野労働組合で長年培った経験を、たたかう労働組合、全労連・県労連運動の前進のために発揮するという熱い思いをもって着任されました。山口さんの最初の大仕事は、1996年、沖繩の米軍基地再編の中で出てきた「白河布引山への米軍実弾演習場の移転問題」でした。山口さんは移転に反対する県連絡会の中心を担い、西郷村で900人の集会を成功させ、移転計画を断念させました。2000年9月には「みんなで新しい県政をつくる会」の要請をうけ、福島県知事選挙に立候補し、当時の佐藤栄佐久知事と一騎打ちでたたかいました。選挙では敗れましたが、翌年に乳幼児医療

費の無料化を実現するなど県政を大きく動かししました。議長退任後、2001年には県労連が新しく発足させた「労働相談センター」の初代所長に就任。退任までに1000件をこえる相談に対応し、多くの労働者に寄り添いました。そして、最後まで、年金者組合の活動、反戦平和、平和憲法を守る運動に精力的に取り組まれました。山口さんの志を受け継ぎ、平和憲法をいかし、労働者が生き生きと働き、生活できる社会をつくる、つよく大きな県労連をつくるために全力をあげたいと思います。本当にありがとうございました



まちがいは7つ



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがひがあります。どこでしょう。印刷のよれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがひに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは12月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

277号（8～9月合併号）のクイズの答えと当選者

答えは左から①右の虫の触覚②女性のリボン③女性の腕輪④左のウサギの耳⑤左の三連音符⑥左の虫の足⑦右の虫の腕でした。応募者は7名で全員が正解。次の5名の方に図書カードを送ります。

- ◇福島県教組岩瀬支部 徳ちゃんさん
- ◇会津地方労連 くろねこさん
- ◇みやぎ生協労組 だちんさん
- ◇福島県医労連 ホエイさん
- ◇全JCHO病院労組 二本松支部 川名 豊さん

福島県春闘共闘委員会2024年総会

12月7日(木)午後6:15～8:00 オンライン(ZOOM)

記念講演「2024春闘の焦点は何か」

講師/黒澤幸一 国民春闘共闘委員会・全労連事務局長

職場、地域で集団視聴を広がってください！

聞いて聞いて

私の思い みんなの願い

☆処理水問題について県民に意思決定できる新たな枠組みを作ってほしいです

(福厚労高田分会 じげんさん)

☆組合員のみなさんこんにちは。先月まで、暑かったのに、めっきり寒くなってきましたネ。今年も令和5年も終りになってきました。体に気をつけて来年の6年度は良い年になるように、みなさんで頑張ってください。

(ごだま交通労組 ミキケンさん)

☆物価の上昇に賃金が追いついていない実感があります。昨年の10月から11月に総理が国民の生活を...と言ったのは嘘だと思っています。

(福島県教組岩瀬支部 徳ちゃんさん)

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！ 等級別割引・割増の継承ができる！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ